

シンポジウム

横浜市の「共創」から学ぶ 市民自治のまちづくり

サーキュラーエコノミー plus とリビングラボの取り組み

リビングラボは、まちの主役である市民に加え、企業やNPO、行政、大学など立場を超えた様々な人が集まって協働し、地域課題の解決につながる新たなモノやサービスを生み出す場所です。

「Living（生活空間）」の「Lab（実験場所）」という名前の通り、市民が主体となったオープンイノベーションの拠点としても注目を集めています。

3月1日(土)
13:00 — 15:30

三鷹市市民協働センター 2F 第1会議室



【講師】

関口 昌幸 さん

横浜市政策経営局 共創推進課
共創オープンイノベーション推進コーディネーター

子育てや介護分野におけるオープンイノベーションの取組を推進すると共に、市民と行政、企業が共創的に地域課題を解決し、事業を創造するためのローカルプラットフォームとしてリビングラボを市内各地で展開している。

対象：市民自治のまちづくりに関心のある団体・個人

応募方法：QRコード応募フォームより(先着80名)

参加費：無料

主催：NPO 法人みたか市民協働ネットワーク



Living
Lab

行政

administration

NPO

Non-Profit Organizations

大学

university

市民

citizen

企業

enterprise

三鷹市市民協働センター

181-0013 東京都三鷹市下連雀 4-17-23

Tel 0422-46-0048 Fax 0422-46-0148

開館時間 9:00 ~ 21:30 (受付時間は 21:00 まで)

火曜日休館日(祝日は開館、直後の平日を休館)



access



HP



Fb



Insta



X